見附市立今町中学校　前期

学校評価だより

令和８年９月 18 日発行
「今町中学校」で検索
E-mail：mitsuke.imamachi-jhs@edu-niigata.ed.jp

学校評価中間結果　～アンケートから見る生徒の様子～

学校評価アンケートをもとに、１学期の取組の成果と課題についてお知らせいたします。

今町中学校は、教育目標「探究」「敬愛」「鍛錬」のもと、知・徳・体の３分野で生徒の持てる力を引き出し、その伸長を図るために、生徒が主役の教育活動を進めています。

子どもたちの成長には、家庭、地域、学校の連携・協働が欠かせません。このたよりで今町中学校の取組と現状をご理解いただき、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。







家庭、地域との確かな連携、協働

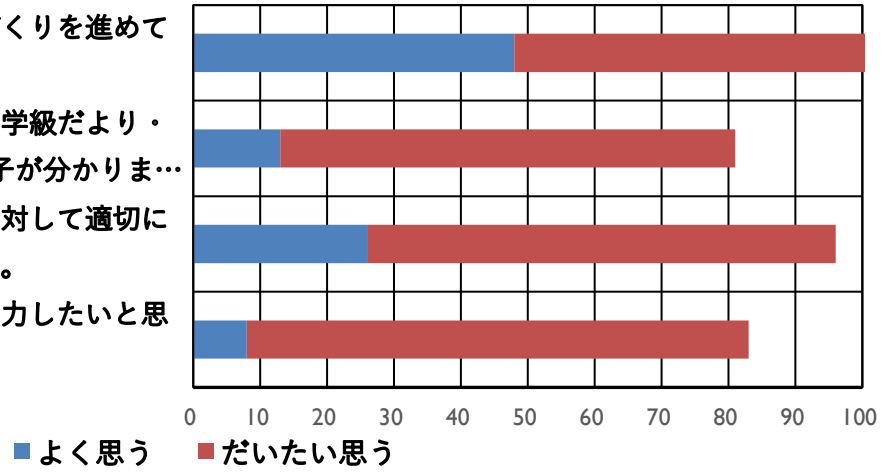
～保護者アンケートの肯定的評価（よく思う・だいたい思う）の割合（令和８年７月実施）～

学校は、地域の特色を生かした学校づくりを進めていると思いますか。

学校からの情報提供（学校・学年・学級だより・メール・ホームページ）で生徒の様子が分かりま…

学校は、児童生徒の人間関係の問題に対して適切に対応していると思いますか。

学校の要請に対して、都合がつけば協力したいと思いますか。



上のグラフからは、保護者の方々から「地域の特色を生かした学校づくり」「地域の情報を得ること・地域との関わりを大切にした取組」について特に高く評価していただけていることがわ現れています。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後は「学校からの情報提供」を心がけ、「学校への協力」についてもより高い評価をいただけるよう引き続き努力していきます。保護者の皆様からも一層の学校へのご協力をお願い致します。

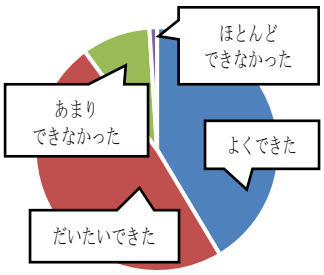
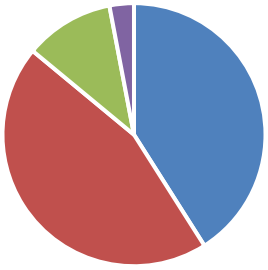
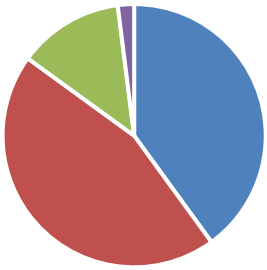
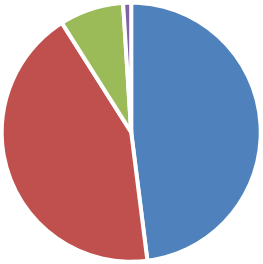
＜知育＞

育てる力　自分の考えを構築し、仲間と協働的に練り上げる力

具体的取組

A　生徒それぞれが学ぶ目的を意識できる授業を工夫します。
　　今中タイムで家庭学習に向かうことができるように支援します。
B　生徒が相互交流をしながら主体的に追究する授業を実践します。

＜生徒のアンケート結果・分析＞（目標　肯定的評価80％以上）

A1　課題に対して、自分なりに解決に向けて考えをもって授業に取り組むことができましたか。	A2　今中タイムで家庭学習の内容を決め、授業で学んだことの定着に努めることができましたか。	B1　わからないことを自ら尋ねたり、自分の考えを仲間に伝えたり、発表したりすることができましたか。	B2　仲間との交流（発表や話し合い、相談など）によって、理解が進んだり、考えが深まったりしましたか。
			
肯定的評価89％	肯定的評価86％	肯定的評価85％	肯定的評価91％

Ａ１から、授業に前向きに参加している生徒が多いことがわかります。学校では普段から学ぶ意欲を高める課題設定を工夫した授業実践に取り組んでいます。

Ａ２から、学習内容の定着や学力を向上させようという前向きな気持ちをもって、家庭学習に取り組んでいる生徒が多いことがわかります。学校では、家庭学習の内容として、「宿題」と「自主学習」への取組を推進しています。生徒が自分に必要な学習を選択して進めていけるよう、今後も家庭学習の支援を継続していきます。

Ｂ１・Ｂ２の結果や日々の授業の様子からも、生徒同士の教え合いや話し合い活動に熱心にいきいきと取り組み、話をする側と聞く側の双方にメリットがあることを実感できている様子がうかがえます。今後も授業で相互交流する場面を意識的に位置づけていきます。

＜今後の取組・お願い＞

今中タイムでは、生徒一人一人の取組を見とり励ましていくことで、家庭学習を充実させるように指導に努めます。２学期以降は、どの学年も、「宿題＋１学習」を合言葉に、生徒自身が自分に必要な学習を選択し、実行していく家庭学習を支援していきます。ご家庭での家庭学習への励ましをぜひお願いします。また、「自信をもって伝える力・発表する力」の更なる育成に取り組みます。わからないところも共有しながら、問い返しをしたり、例示を求めたりして、自分の考えを深め、練り上げていくような交流活動を授業実践に意識的に取り入れていきます。

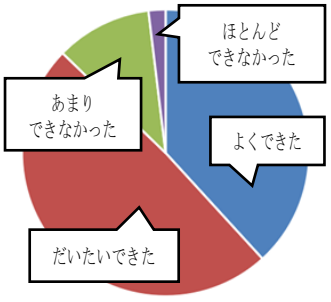
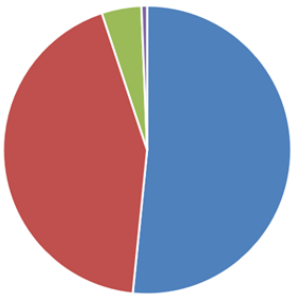
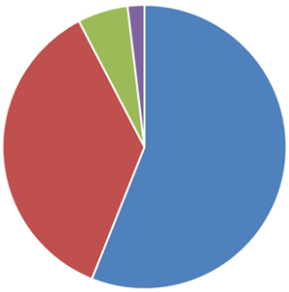
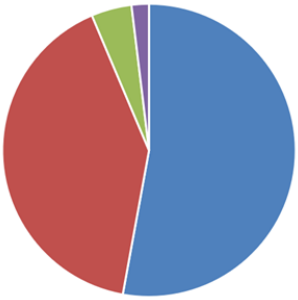
＜徳育＞

育てる力　自他の良さや違いを認め合い、協力して活動する力

具体的取組

Ａ　生徒が進んで相手に伝わる挨拶を交わせるよう支援します。
Ｂ　授業、学級、部活、委員会、行事などで生徒が主体となって活動し、自他の良さや違いに目を向け、協力して活動する機会を取り入れます。

＜生徒のアンケート結果・分析＞（目標　肯定的評価80％以上）

A1　学校や地域で、自分から進んで相手に伝わる挨拶をすることができましたか。	A2　挨拶に対して自分なりに反応（返事、会釈、挨拶）することができましたか。	B1　授業、学級、部活、委員会、行事などで、自分の良さを生かして積極的に活動することができましたか。	B2　授業、学級、部活、委員会、行事などで、仲間の良さや違いを認めて、協力して活動することができましたか。
			
肯定的評価87％	肯定的評価95％	肯定的評価92％	肯定的評価94％

Ａ１から、学校や地域で、自分から進んで挨拶をする生徒が多いことがわかります。また、Ａ２から、挨拶に対してもしっかりと反応できていることもわかります。
Ｂ１から、様々な場面で主体的に活動する生徒が多いことがわかります。また、Ｂ２から、自ら積極的に活動したり、仲間と協力したりして何かを成し遂げようという意欲が見られます。これは１学期に生徒会や学年委員を中心に、様々な取組等を行った効果が出ていると考えています。

＜今後の取組・お願い＞

２学期は行事や校外での活動も多い学期です。行事や日常の学校生活の中で、生徒がお互いの良さを認め合うことを目指しますので、ご家庭でも、お子さんの頑張りを認め、プラスの声掛けをお願いいたします。行事を通し、個人・集団ともにレベルアップすることを期待しています。

また、挨拶の面では、自ら進んでする習慣を、より高めていきたいと思いますので、ご家庭でも意識していただけるよう、よろしくお願いいたします。

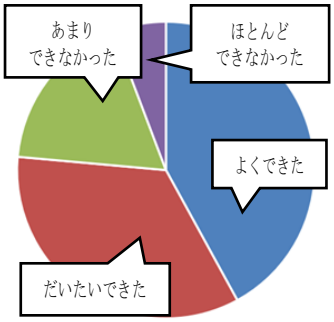
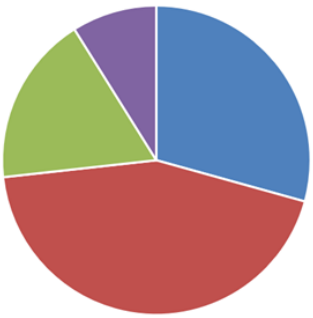
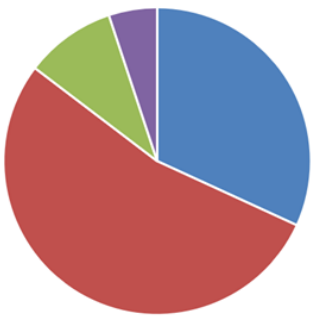
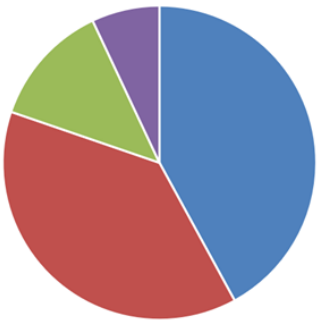
＜体育＞

育てる力　自分の健康・体力に関心をもって生活する力

具体的取組

A　各学年の実態に応じた睡眠やメディア利用の指導を行います。
　　学期に１回の健康チェック週間を設け、睡眠やメディア利用時間について振り返ります。
B　体力向上のために、授業でのウォーミングアップや体つくり運動を充実させます。

＜生徒のアンケート結果・分析＞（目標　肯定的評価80％以上）

A1　健康維持のために、夜23時までに就寝する、また就寝時間が遅い場合は、早める努力ができましたか。	A2　健康維持のためにメディア時間をコントロールして生活することができましたか。	A3　健康チェック週間で立てた目標を普段の生活に生かして、取り組むことができましたか。	B1　体力向上のために、ウォーミングアップや体つくり運動に積極的に取り組むことができましたか。
			
肯定的評価76％	肯定的評価73％	肯定的評価86％	肯定的評価80％

健康チェック週間中は、目標を達成するために取り組む生徒が多くなるのですが、日常生活でも継続していくとなると難しいようです。日常の下校後は生徒によっては非常に忙しく、塾や社会体育などの活動のほか、特にメディア時間の調整と就寝時刻が影響しあい、下校後のタイムマネジメントが課題である生徒が多い様子がうかがえます。

Ｂ１では、昨年度の調査よりもより肯定的評価の割合が高くなっており、体育の授業の取り組みが習慣化されてきて、生徒が積極的に取り組んでいることがわかります。

＜今後の取組・お願い＞

早寝早起きへの声掛け、メディア使用に関する家庭でのルール作りなど、ご家庭の協力が不可欠です。２学期の健康チェック週間は、小学校と同時期に実施します。お子さんの心身の健やかな成長に向け、家族ぐるみの取り組みにご協力よろしくお願いいたします。

体つくり運動は、１年間を見通して計画的に行っていきます。体を動かす楽しさや心地よさを味わってもらい、実生活に生かすことができる運動を取り入れていきます。各ご家庭でも運動する機会を取り入れていただければと思います。

